



発行所  
夕刊三重新聞社  
〒515-0821 三重県松阪市外五曲町15  
☎ 代表 (0598) 21-6113  
FAX (0598) 21-8500  
☎ 編集連絡 (0598) 21-8362  
電子メール info@yukan.com  
郵便振替口座 00810-9-13245  
夕刊三重トラスト  
☎ 代表 (0598) 21-9700

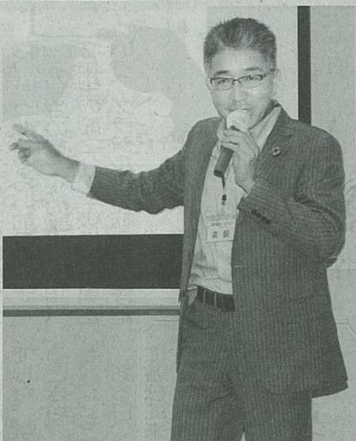
購読料  
1カ月1700円、1部80円

©夕刊三重新聞社 2022

元気で躍進 地域経済

尾鍋会長(尾鍋組社長)が講演

エコシオ  
工法協会 3年ぶり報告会、情報交換会



スクリーンの前で地盤改良工法と環境との関係を話す尾鍋会長

— 高町の華王殿で

など全5議案を可決した。

この日はその結果報告と合わせて、協会事務局の濱口幸三・尾鍋組地盤改良事業部本部長(52)が協会の活動と全国代理店による施工実績を報告し、尾鍋会長(60)が「地盤改良工事による環境と経済への影響」と題して講演した。

エコシオ工法は、自然石を小さく砕いた碎石を筒状に捆った穴に詰め込み、建物を建てる地盤を強化する地盤改良技術。

松阪市飯高町宮前の(株)尾鍋組(尾鍋哲也社長)と三重大学が共同開発した環境に優しい地盤改良技術「エコシオ工法」の施工代理店などによるエコシオ工法協会(尾鍋哲也会長、59社)が10日午後3時から、同市高町の華王殿で2022(令和4)年度の報告会を開

催。全国の会員企業の代表者らと酒井俊典顧問(三重大学生物資源学研究所教授、来賓の竹上真人市長ら合わせて74人が参加した。

本年度の第11回通常総会はその前日、一昨年と昨年にかけて書面決議で行われ、前年度の収支決算、本年度の収支予算案

地中に人工物を残さず地球環境に優しい。残土の出ない「無排土」のやり方もある。

21(同3)年度の年間施

工件数は4581件で、施工が始まった09(平成21)年以降の累計は2万5719件に。20年度と比べると11.2%の伸び。うち「無排土」が92.3%を占めた。

尾鍋さんは講演で、従来の鋼管杭(ぐん)を打ち込む工法や、セメント系固化剤で土を固める柱

状改良工法と比べて、地中に自然の碎石しか残さないエコシオ工法の環境に対する負荷の少なさを強調。そうした情報が顧客に伝わるようにしたいと語った。

また、開会に当たってのあいさつの中では「たくさん施工いたただいて、たくさん販売いたただい

とで、地球環境の保全につながる、その気持ちを持って事業に取り組んでもらいたい」とも話していた。

報告会に続いて午後4時20分からは、華王殿の別の会場で情報交換会を開催し、約1時間、食事をしながら3年ぶりの交流を楽しんだ。